



プロフェッサー講座

受講生募集案内

	タイトル	講師名	講座概要	会場他
1	「野菜と果物」 ～賢く食べて健康維持～ (11月～2月各1回・3月2回・6回講座)	吉田 企世子 女子栄養大学 名誉教授	野菜・果物には特有の栄養成分が含まれます。しかし、これらは不動のものではありません。成分内容を正しく把握し、美味しく、賢く食べて健康を維持したいものです。	i プラザ 第2土曜日 午後1時半
2	「くすり」の狙い撃ち ～秘められた工夫～ (10月～3月・各1回・6回講座)	新楨 幸彦 東京薬科大学 名誉教授	体内でのくすりの動態を精密に制御するために、くすりを「必要な量」「必要な時間」「目的部位」へ送り込もうとする薬物送達システム。秘められた工夫について学びます。	地域振興 プラザ 第3日曜日 午前10時
3	「脳」と人工知能と芸術 (11月・1月・2月・各2回・6回講座)	塚田 稔 玉川大学 名誉教授	人間特有の情報処理能力や記憶のメカニズムを理解することで人工知能の現状と将来を考えます。芸術家の優れた作品を通じ人間の脳の創発原理を理解し、これからの人間社会のあるべき姿を考えます。	地域振興 プラザ 第3日曜日 午後1時半
4	うっかりミス「心理学」 (12月・1月・2月・各2回・6回講座)	樋口 貴広 首都大学東京 教授	日常の何げないミスから歩行中の転倒まで、様々なうっかりミスの原因を、心理学の視点から捉え、その原因や予防策を解説します。	地域振興 プラザ 第4土曜日 午前10時
5	「江戸」の町奉行所 (10月～3月・各1回・6回講座)	滝口 正哉 駒沢女子大学 非常勤講師	歴史小説や時代劇でもおなじみの町奉行所。江戸の行政を担った彼らの職務内容、奉行所の構造、与力・同心の生活などを紹介します。	地域振興 プラザ 第4土曜日 午後2時半
6	「台湾」の暮らしと歴史 ～旅行だけではわからない台湾の真実～ (1月・2月・3月・各1回・3回講座)	曾山 毅 玉川大学 教授	台湾は近現代において重層的な歴史と錯綜した政治状況を経験してきました。こうした中で培われてきた台湾の人びとの暮らしについて考えます。	i プラザ 第2土曜日 午前10時

募集期間 平成30年7月17日(火)～8月17日(金) 必着

※7月29日(日)の講座紹介イベント会場でも申込みができます!

応募者が定員を超えた場合は抽選になります。 ※受講決定通知書・振込用紙は9月上旬に郵送いたします。

※講座によっては日時が変則的な場合がございますので、ご確認の上お申込みください。

【問合せ先】 いなぎ ICカレッジ事務局 (稲城市教育委員会 生涯学習課)

〒206-0803 稲城市向陽台4-6-18 城山体験学習館内

tel.042-370-2822 fax.042-378-3233

受付時間 (火曜日～金曜日) 10時～16時

いなぎ ICカレッジホームページ <http://www.inagiic.net/>

「いなぎICカレッジ」は平成15年稲城市主催事業として「稲城市生涯学習推進計画」に基づき開設された単位制市民大学です。企画・運営は市民ボランティア理事会が担い、市は常に理事会に参画し、会場確保・広報・大学等の対外的窓口などのサポートをし、受講料で運営している全国でも珍しい市民カレッジです。「いなぎICカレッジ」の「IC」は、「Interactive Community＝相互交流」の略称で一方的でない講座運営に努めることを理念としています。この理念に基づき、「であい・ふれ愛・学びあい」の精神で講師・受講生ボランティア理事の三者が共同で講座運営をしています。

「**プロフェッサー講座**」は大学の先生方が専門的な知識を「やさしく」「楽しく」解説します。「心と体」「自然・科学」「芸術・文化」「経済・社会」などジャンルバランスに考慮しながら週末に「稲城市立 i プラザ」「地域振興プラザ」にて午前・午後1日6講座を常設しています。同一講師による連続講座で直接質問ができるインタラクティブな運営が特色です。

「10月開講プロフェッサー講座紹介イベント」(無料)

各先生方のご自身の講座の魅力を10分程度にまとめてご紹介いたします。誰でも参加できます。アカデミックな時間を是非お楽しみください。受講したい講座がございましたら、その場で受講のお申込みもお受けいたします。

平成30年7月29日(日) 14:00～15:45 地域振興プラザ4階

＜学長交代セレモニーのお知らせ＞

日江井榮二郎学長（明星大学元学長・東京大学名誉教授・国立天文台名誉教授）が満期のため9月をもちまして退任いたします。10月から山田陽城学長（北里大学名誉教授・東京薬科大学客員教授・北里大学北里生命科学研究所元所長）が就任いたします。7月29日の紹介イベントにて、学長交代セレモニーを予定しております。

講座
No.1

「野菜と果物」～賢く食べて健康維持～

吉田 企世子 女子栄養大学 名誉教授

野菜と果物の成分は共通点が多い反面、非常に異なります。また、一口に野菜といっても個々の野菜で内容は異なり、それぞれ特徴があります。各種の野菜を組み合わせることで美味しく食べるためにも、健康維持のためにも望ましいことです。また、多くの野菜は組織が軟弱なので収穫後の成分変動が大きいのです。現在は輸入野菜も増加していますが、地域で生産された野菜は品質が優れています。

- 曜 日 第2土曜日(11～3月)
- 時 間 13:30～15:00(90分)
※第1回目は開講式のため13:20開始
※第6回目は15:10～16:40
- 受講料 4,000円
- 会 場 i プラザ
- 定 員 40名
- 単位数 1単位

日 程	講 座 内 容
第1回 11/10 (土) 13:20～	「野菜・果物の摂取量の現状」何故野菜・果物を食べるのか。 (栄養素・機能性成分の特徴、美味しく食べるには)
第2回 12/8 (土) 13:30～	「栽培条件と野菜の成分」 (土壌環境、気候条件、品種、収穫時期などにより異なる)
第3回 1/12 (土) 13:30～	「野菜の収穫後の成分変動」 (収穫後の適正な扱い方が必要である)
第4回 2/9 (土) 13:30～	「家庭における保存と調理による野菜の成分変動」
第5回 3/9 (土) 13:30～	「果物の成分特性」 (甘味成分、酸味成分、ペクチン、その他)
第6回 15:10～	野菜・果物だけでは健康維持はできない。 何をどれだけ食べるのがよいか。

講師 Profile

吉田 企世子(よしだ きよこ)

女子栄養大学名誉教授。
栃木県生まれ。日本女子大学大学院修了。
農学博士(東京大学)。瑞寶小授賞受賞
専門は食品学。主な研究分野は「栽培条件と野菜の成分およびその変動」
農林統計協会評議員。中央果実協会評議員。
日本醤油技術センター理事。
主な著書・監修「野菜～畑から食卓まで」
「野菜の成分とその変動—土壌環境からのアプローチ」、
「旬の野菜の栄養事典」など。

体の仕組みや疾病発症メカニズムが明らかになり、それに呼応して作用部位が明確で、作用がより強くくすりが開発され、体内でのくすりの精密な動態制御が求められています。この背景から、くすりを「必要な量」「必要な時間」「目的部位」へ送り込もうとする薬物送達システム (Drug Delivery System, DDS) の概念が生まれました。この考え方をもとに生まれたくすりに秘められた工夫について学びます。

日程		講座内容
第1回	10/21 (日) 9:50~	くすりを「必要な量」「必要な時間」「目的部位」へ送り込もうとするDDSの概念について学びます。
第2回	11/18 (日) 10:00~	血中の薬物濃度は効果や副作用に大きく影響します。くすりの血液中への移行とその促進方法について学びます。
第3回	12/16 (日) 10:00~	1日3回飲む薬、1日1回、3か月に1回投与のくすり。その工夫は。放出制御製剤について学びます。
第4回	1/20 (日) 10:00~	疾患部位を狙い撃ちする「くすり」、標的指向型(ターゲット)製剤について学びます。
第5回	2/17 (日) 10:00~	がんをはじめとする後天性疾患に対して核酸医薬や遺伝子治療(ゲノム編集)が注目されています。その基礎について概説します。
第6回	3/17 (日) 10:00~	疾病の予防薬としてのワクチンの歴史と開発現状について学びます。

- 曜日 第3日曜日(10~3月)
- 時間 10:00~11:30(90分)
※第1回目は開講式のため9:50開始
- 受講料 4,000円
- 会場 地域振興プラザ
- 定員 60名
- 単位数 1単位

講師 Profile

新槇 幸彦(あらまき ゆきひこ)

東京薬科大学名誉教授 薬学博士 薬剤師
日本薬学会評議員
日本DDS学会評議員
元大学基準協会評価委員
専門領域は「薬剤学」
著書「最新薬剤学」(共著)廣川書店など。

人間が霊長類の長に君臨している所以の一つは、時空を一瞬に操作できる記憶の統合機能にあるといえます。人工知能は進化したとはいえ、人間の記憶の優れた機能を十分に利用していません。科学と芸術は同じ脳の営みであるとはいえ異なる、両者を止揚し脳の創造の仕組みから芸術を解き明かします。

日程		講座内容
第1回	11/18 (日) 13:20~	「脳はどのように発達するのであろうか？」 物と物とを区別する認識、コミュニケーションと情報創生、自己認識機能と発達障害、自閉症、統合失調症などの原因を理解する。
第2回	15:10~	「人間とサルとの能力の違いはどこにあるのか？」 サルは現在の記憶の操作に優れているのに対し、人間は、過去・現在・未来の記憶を一瞬に操作するのに優れている。
第3回	1/20 (日)	「見るとはどのようなことか？」 意欲や意思がないと記憶もできないし、見ることもできない。
第4回	13:30~ 15:10~	「人工知能はどこまで人間の特有の記憶システムに迫れるのか？」 ダビンチ「大洪水」、北斎「大波」は脳の記憶「フラクタル」構造を使って巧みに描いている。人工知能は人間の芸術にどこまで迫れるか？
第5回	2/17 (日) 13:30~	「脳の創造性はどのように創られるのか？」 学習と記憶のメカニズムを理解すると共に、芸術家たちの優れた作品を通じて、脳の創造性の表現を学ぶ。
第6回	15:10~	「天空から降りてくるものは何か？」 理性と感性を止揚して宇宙創造の原理に迫る。

- 曜日 第3日曜日(11・12月)
- 時間 13:30~16:40(90分×2)
※第1回目は開講式のため13:20開始
- 受講料 4,000円
- 会場 地域振興プラザ
- 定員 60名
- 単位数 1単位

講師 Profile

塚田 稔(つかだみのる)

職歴：現在、玉川大学・脳科学研究所、客員・名誉教授 工学・医学博士
昭和46年3月 東北大学・大学院・博士課程修了
玉川大学工学部教授
同大学脳科学センター創設センター長
同大学院工学研究科・研究科長
同大学学術研究所・副所長
21世紀COE「全人的人間科学プログラム」リーダー-COE、「脳の世紀」創立委員、
日本神経回路学会・会長(現在・顧問)
著書：「芸術脳の科学」講談社ブルーバックス他
画歴：日府展・洋画部長・常務理事
三玲賞、記念賞、日府賞、NHK厚生文化賞、
東京新聞賞、東海テレビ賞、他

うっかりミスはなぜ起こるかについて、心理学の視点から解説する講座です。日常の些細なミスも医療現場などでの重大ミスも、その背景には共通したヒューマンエラーがあります。またどんなに身体が健康でも、注意の向け方を誤ることで転倒することがあります。本講座では、様々なミスに至る心理学的な問題について解説します。

日程		講座内容
第1回	12/22 (土)	「不注意とミス」 集中しているからこそミスをする？
第2回	9:50～ 13:00	「熟練とミス」 慣れているからこそミスをする？
第3回	1/26 (土)	「医療事故に学ぶヒューマンエラーの問題」1 コミュニケーションのミス
第4回	10:00～ 13:00	「医療事故に学ぶヒューマンエラーの問題」2 集団行動によるミス
第5回	2/23 (土)	「転倒の心理学的問題」1 デュアルタスク能力
第6回	10:00～ 13:00	「転倒の心理学的問題」2 行動を調整する力

- 曜 日 第4土曜日(12月～2月)
- 時 間 10:00～13:00(90分×2)
※第1回目は開講式のため 9:50開始
- 受講料 4,000円
- 会 場 地域振興プラザ
- 定 員 60名
- 単位数 1単位

講師 Profile

樋口 貴広(ひぐち たかひろ)

2001 東北大学文学研究科博士後期課程修了
2001 博士(文学)
日本学術振興会特別研究員、
University of Waterloo客員博士研究員などを経て、
2006年より首都大学東京、2015年より現職

著書「身体運動学—知覚・認知からのメッセージ」
(2008, 三輪書店)
「知覚に根ざしたりハビリテーション」
(2017, シービーアール)

歩きスマホの危険性に関するマスコミ協力等多数

歴史小説や時代劇でもおなじみの町奉行所は、南と北の2ヶ所あり、合計しても300名足らずの人員で江戸の行政を担った彼らの実態はごく一部しか知られていません。そこで本講座では、町奉行以下奉行所に勤務した役人たちの職務内容、奉行所の構造、「八丁堀の旦那」と呼ばれた御家人身分の与力・同心の生活などをご紹介します。

日程		講座内容
第1回	10/27 (土) 14:20～	「町奉行所とは？」 町奉行所のはたした全体的な役割について概説します。
第2回	11/24 (土) 14:30～	「町奉行所の仕事内容」 町奉行や、与力・同心の多彩な仕事ぶりを取り上げます。
第3回	12/22 (土) 14:30～	「犯人探査の記録」 同心が清河八郎を追跡した記録を読み解きます。
第4回	1/26 (土) 14:30～	「名奉行根岸鎮衛と遠山景元」 大岡越前の再来といわれた2人の実態をご紹介します。
第5回	2/23 (土) 14:30～	「八丁堀の旦那の実像」 与力・同心の生活と文化活動についてご紹介します。
第6回	3/23 (土) 14:30～	「町奉行所の明治維新」 町奉行所の引き渡しや、維新後の与力・同心たちの動向を取り上げます。

- 曜 日 第4土曜日(10月～3月)
- 時 間 14:30～16:00(90分)
※第1回目は開講式のため14:20開始
- 受講料 4,000円
- 会 場 地域振興プラザ
- 定 員 60名
- 単位数 1単位

講師 Profile

滝口 正哉(たきぐち まさや)

早稲田大学教育学部社会科地理歴史専修卒業。
立正大学大学院文学研究科博士課程満期退学。
博士(文学)。駒沢女子大学他非常勤講師。
専門は近世都市史・文化史。
著書「千社札にみる江戸の社会」(同成社)
「江戸の社会と御免富」(岩田書院)
「江戸の祭礼と寺社文化」(同成社)
編著「赤坂氷川神社の歴史と文化」(都市出版)

台湾は清国統治、日本統治を経て、第二次大戦後は国民党政権が長期にわたって政権を担当しました。今日、台湾で暮らす人びとをとりまく社会や文化はこうした歴史的な経験を経て生み出されました。日常生活の視点とこうした台湾の歴史を交錯させながら、今日の台湾について考えたいと思います。

日程		講座内容
第1回	1/12 (土) 9:50～	「台湾のかたち」 台湾の歴史、政治、社会など台湾のかたちについて概観します。
第2回	2/9 (土) 10:00～	「台湾の暮らしと社会」 台湾の人びとの現在の暮らしぶり、それを形作った台湾の錯綜した政治と社会をみていきます。
第3回	3/9 (土) 10:00～	「台湾と日本」 台湾と日本の歴史的関係を軸に、今日の台湾についてみていきます。

- 曜日 第2土曜日(1～3月)
- 時間 10:00～11:30(90分)
※第1回目は開講式のため9:50開始
- 受講料 2,000円
- 会場 i プラザ
- 定員 40名
- 単位数 0.5単位

講師 Profile

曾山 毅(そやま たけし)

慶応義塾大学経済学部卒
立教大学大学院社会学研究科博士課程満期退学
博士(観光学)
台湾景文技術学院助理教授
名城大学国際学部助教授
九州産業大学商学部教授などを経て現職。
専門は観光史。

<単位について>

いなぎICカレッジは、単位制市民大学として開設、運営しています。1講座3分の2以上出席で修了証を授与します。6回講座の場合は4回以上出席で1単位、3回講座の場合は2回以上出席で0.5単位です。12単位取得しますとプロフェッサー講座「生涯学習市民修士」、30単位取得しますと「生涯学習市民博士」の学位記を、山田陽城学長（北里大学名誉教授・東京薬科大学客員教授）より授与いたします。また、生涯学習市民博士になられた方は、異分野交流等を目的としたプロフェッサー講座講師OB会（いなぎICCPクラブ）総会にご招待いたします。学位記取得も一つの目標に楽しく学んでいただけますと幸いです。

◆ いなぎICカレッジ「2020東京オリンピック・パラリンピック」企画講座

【PART.1】「オリンピック伝道講座」～オリンピックは一体何のために～

平成30年7月29日(日) 11:00～12:30 中央文化センターホール

講師：舩本 直文 首都大学東京 特任教授（いなぎICカレッジ特任副学長・プロフェッサー講座委員長）

定員：374名 参加費無料（申込み不要）

※先着50名に2020東京オリンピック・パラリンピック公式記念グッズをプレゼント♪

【PART.2】「ちゃりんこマスター稲城」～この夏、キミも稲城の自転車マスターにならないかっ!?～

平成30年8月18日(土) 14:00～16:00 中央文化センターホール

対象：小学生以上（小学3年生以下は保護者同伴）

定員：250名 参加費無料（申込み不要）

内容：第1部「自転車の歴史などを知ろう」、第2部「自転車博士は誰だ！～クイズにチャレンジ～」
第3部「自転車メンテナンス」実況中継、第4部「プロ・ロードレーサーによるトークショー」
第5部「賞品付き！自転車スピード王チャレンジ！」